

事業と人物

地方開發の基礎、それは人材の活躍に待つのみである。天與の富源は、誰とぞ之を拓くに非ずんば如何とすべからず。之を拓き、之を興すの策、唯人々に依るのみである。身を以て公共に致し、節を樹て、風教に資し、實業に政治將た教育に各々有爲の活躍をなせる人之をその地方に失ひば地方衰退し、之を得ば即ち振興す。此種の人物を擧げて徳を彰し功を稱するならば、それは如何ばかり後進の奨励となる事であり、擧げざる事なる。筆者本紙が毎號人物事業の月旦と紹介する所以の實に茲に在る。人物の眞價は、爵位勲等にのみ依つて定まるものではなく、實力を伸べて天分を盡くし、郷土の開發を、扶け或は後進の指導に當たるに在る。

堅實牢として拔くべからざる

紳商 西村屋藥舗 店主は高懷達識の士



クスリと申せば西村、電話於て顯著なる藥舗は平町二番とスグ判る如く地方に丁目西村屋藥舗である……

徳實その者の如きを店主とする

老舗 山崎名會社

若店主は清廉潔白の士



平町を代表する商店として知られて來り、醬油の外、西に鹽屋、東に釜屋、酒、罐詰等元の鹽屋吳服店……

在知れ居る同店は老舗、譲りて善處したる如きは、令弟創業は易く守成は難し……

釜屋兄弟側面觀

深慮人 諸橋久太郎氏



先代諸橋久太郎氏の名を功者、特有な不遜の剛毅……

信念の人 諸橋元三郎氏

長兄久太郎氏を捕手に擬て試合が開始される、敵は……

漫談の雄

山崎 登氏

鑛泉旅館 石屋

四倉醫師 齒醫一同

芳賀 正義

志賀 直哉

草野 村

鹿島村助 役

大平 菊次郎

中 柴 光顯

平町新川町 木村病院長 木村 寅次郎

平町土橋通り 原 精一

祝創刊滿五年

御料理 青柳

菊地 傳一郎

平町土橋通り 原 精一

平町新川町 木村病院長 木村 寅次郎

平町四軒町 中 柴 光顯

大平 菊次郎

草野 村

鹿島村助 役

志賀 直哉

芳賀 正義

鑛泉旅館 石屋

四倉醫師 齒醫一同

大平 菊次郎

中 柴 光顯

平町新川町 木村病院長 木村 寅次郎

平町土橋通り 原 精一

平町四軒町 中 柴 光顯

大平 菊次郎

草野 村

鹿島村助 役

志賀 直哉

芳賀 正義

鑛泉旅館 石屋

信仰の人々へ (23) 迷信 十二

片岡謙三郎

今、迷信に進んだ時世には、斯い物語りは殆んどある男なら祈り殺そうと云ふ男... 迷信の大部分は吉凶禍福を起つた、斯うした事は理を目的としてゐる...

縁陰漫語

江尻生

本國である限り日本國を危る事にはならぬ。共産主義の中心點は其の如き思想に在る。經濟理論として其の共産主義政治運動としての團體變革...

警中同窓會

諸橋會長再選 他役員會長指命

警中同窓會は例により去る拾日母校に於て開催、終つて住吉屋本店にて懇親會を催したが今回は諸橋久太郎氏「守次氏襲名」を會長とする役員任期満了につき改選を行ひ、會長に諸橋久太郎氏、會長に諸橋久太郎氏、會長に諸橋久太郎氏...

内郷高坂校 杉山勇馬先生 謝恩會

現玉川小學校校長杉山勇馬氏が内郷校在職中教をうけた左の諸氏が謝恩會を去る五日小名濱町新米にて開催し、謝恩會を去る五日小名濱町新米にて開催し、謝恩會を去る五日小名濱町新米にて開催し...

雑吟

水はさとりわめて跳ねる女連れ 手をひいて泳ぐ女に波がざれ 降参と思へたばる千孺惱 水撒を長袂でやる三男は 夏瘦せを又も氣にして水鏡...

祝創刊滿五年

- 赤井村大字西小川字堂平百一番地 古市 土石炭探堀所 杉山 今朝吉 薄葉 富保 近藤 節太郎 桐谷 クニ 平町 藤原 和 田 禎 宗 平町 四丁目 寫眞館 電話八四七番

柏原真吾

關内正一

松本栄一

佐橋元三

老松徳次郎

山本和子

山本和子

山本和子

山本和子

山本和子

山本和子

山本和子

山本和子

山本和子

山本和子

山本和子

大暴落品入荷!! この安値!! 絹綿布實用品大廉賣

三井の超特価 本場久留米紺緋 松山紺緋 正紺 織色 九十五銭 七十五銭 四十五銭 八十五銭 一圓八十銭 一圓五十銭 一圓八十銭 一圓八十銭 一圓八十銭

三井呉服店

舊中元福引大賣出し

御仕着せ用 實用品大特價提供 御中元用 (舊六月廿五日より) 十日間 特等 三重桐葉紋又は上等明石一反 特等 特製新錦一反又は紋帳一反 二等 友仙帯皮又は反物一反 三等 友仙帯皮又は反物一反

中野吳服店

大勉強

尚美堂薬店